

印象派前期までの欧州画家

(PaintersBr02.pdf)

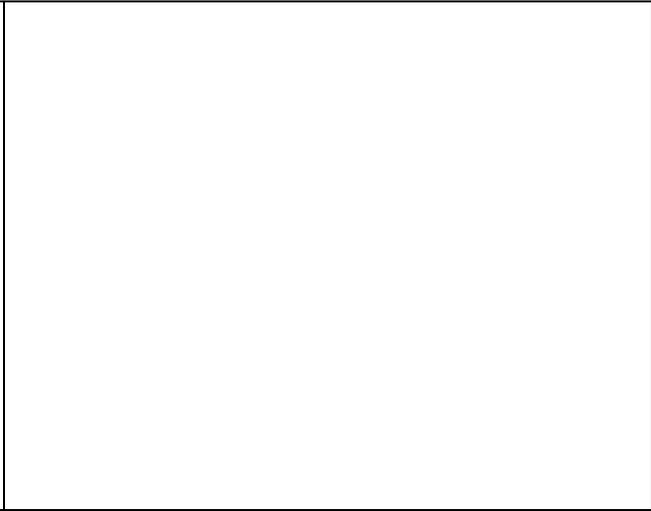
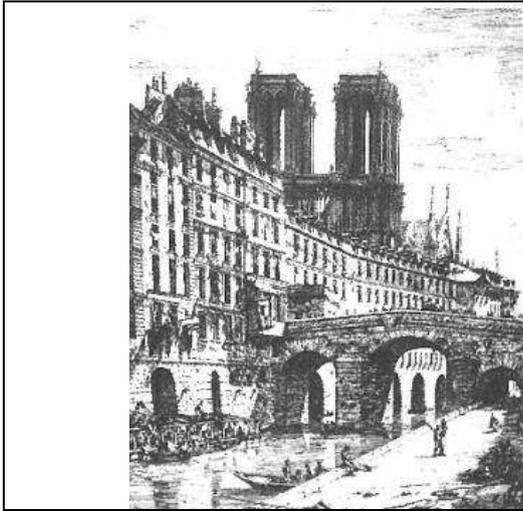
レオナルド・ダ・ビンチ(1452-1519)



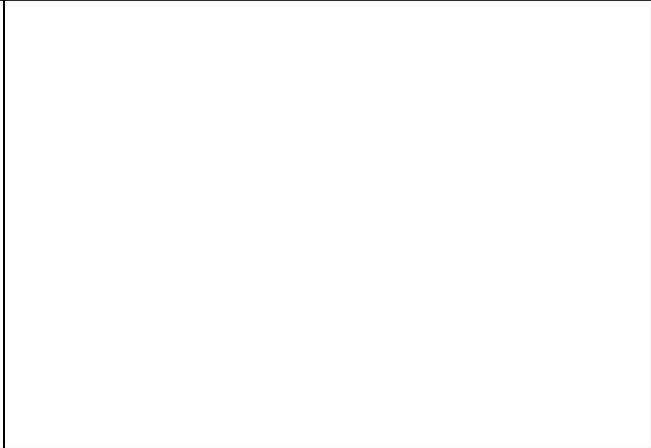
カルパッチョ(1455?-1525?) Carpaccio, Vittore



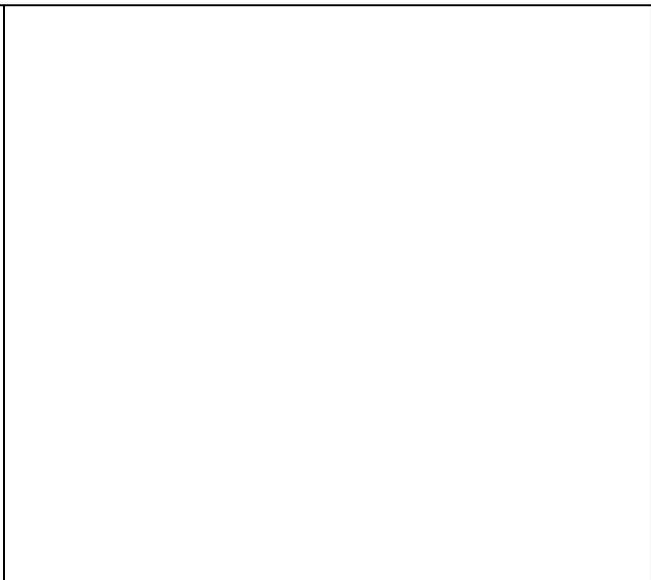
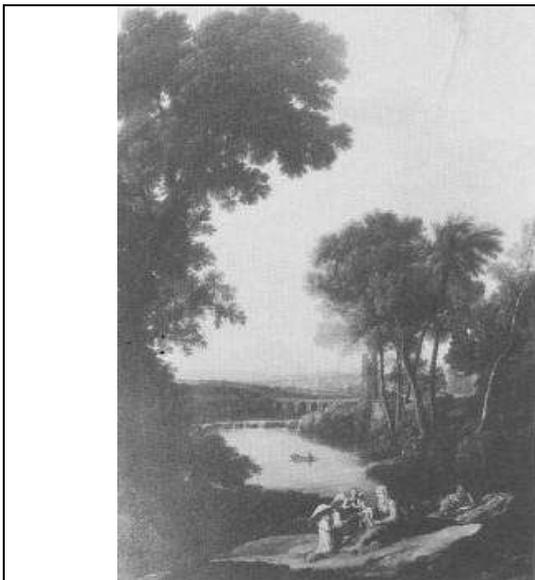
メゾン



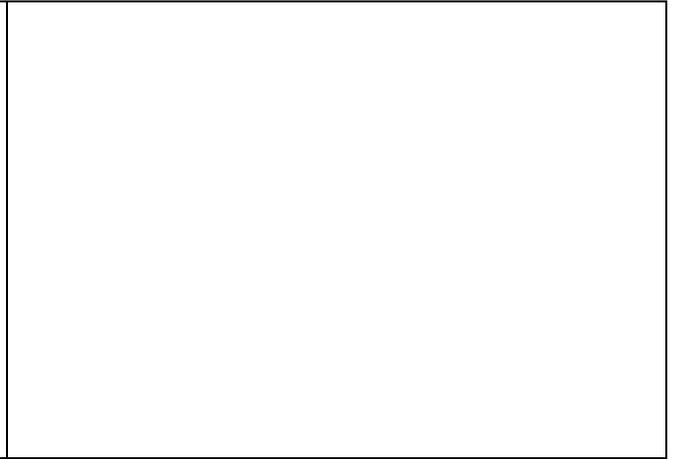
オスターデ



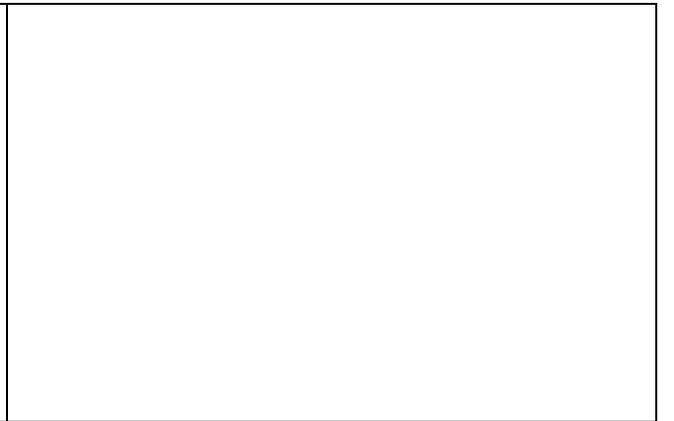
ロラン(1600-1682)



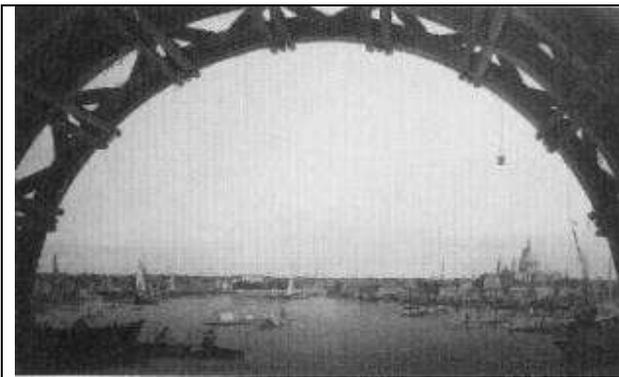
ルーベンス(1577-1640)



レンブラント(1606-1669)



カナレット(1697-1708)





ロベール Hubert Robert, フランス、1733-1808

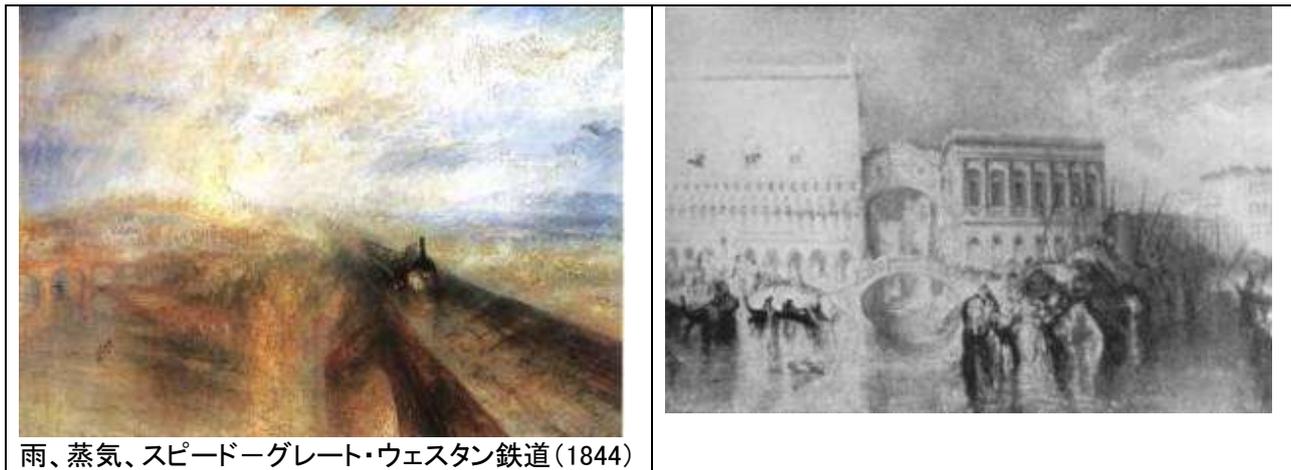


フリードリッヒ



Friedrich(1774-1840)Casper David,
ドイツ

ターナー(1775-1851)



雨、蒸気、スピード・グレート・ウェスタン鉄道(1844)

ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー(Joseph Mallord William Turner、1775年4月23日 - 1851年12月19日)は18世紀末~19世紀のイギリスのロマン主義の画家である。イギリスを代表する国民的画家であるとともに、西洋絵画史における最初の本格的な風景画家の1人である。

ヨンキント(1819-1891)



セーヌ川とノートル・ダム大聖堂、1864、オルセー美術館

レピーヌ(1835-1892)



イヴリー河岸、1874

セーヌ河畔の春、18??、リーズ美術館

モネ(1840-1926)



0828



アルジャントイユの鉄道橋、1874、フィラデルフィア美術館



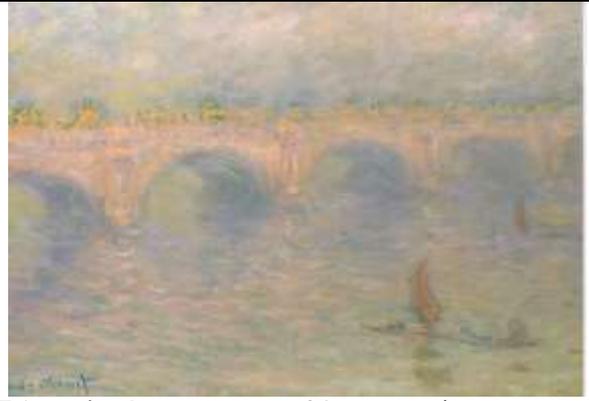
日本の橋、睡蓮がある池、1900、個人蔵



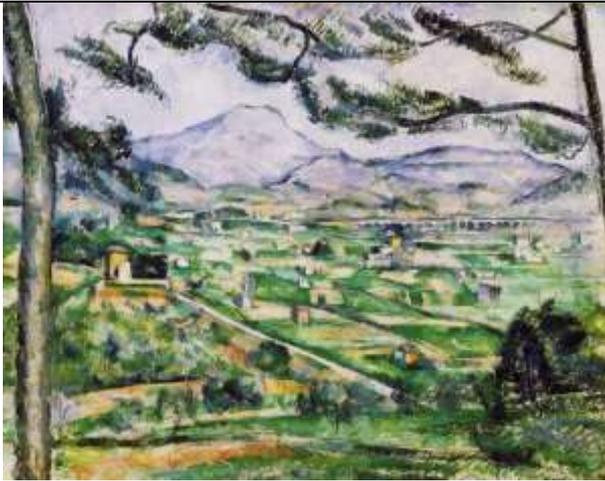
ポン・ヌフ、モネ、1871、ダラス美術館



ウオータールー橋、1900、個人蔵



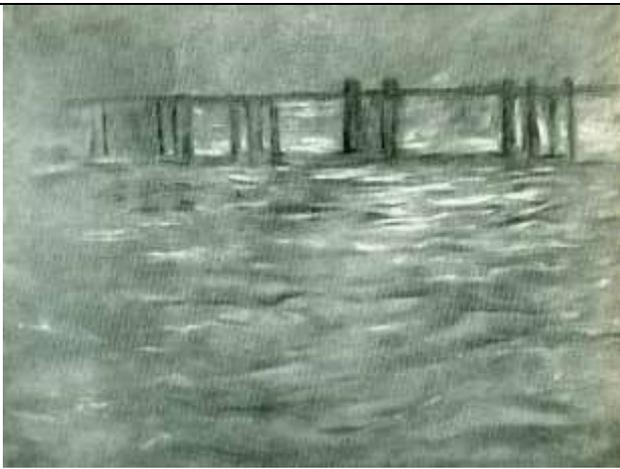
陽を浴びるウオータールー橋、1904、ビューレ・コレクション



PIC1S2006



1899、モスクワ、プーシキン Pushikin 美術館



テムズ河の橋、1900?



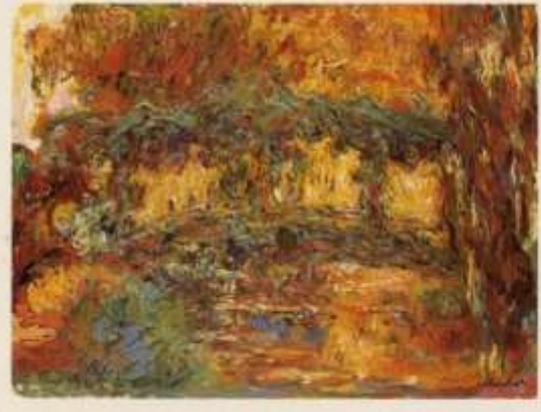
テムズ河と国会議事堂、1871、ロンドン・ナショナル・ギャラリー



PIC1S162、アルジャントイユの道路橋 1874、ワシントン・ナショナル・ギャラリー



日本の橋,モネ,1918-24,パリ、マルモッタン美術



Pic163.JPG、日本の橋、1918-24、パリ、マルモッタン美術館



PIC1S170、日本の橋、ca1918 バイエラー財団美術館



ラ・グルヌイエール、1869,メトロポリタン美術館



ブージヴァルの橋、1870,カリーギャラリー



サルーテ運河、1908、ポーラ美術館



アルジャントイユの鉄道橋、1874、オルセー美術館

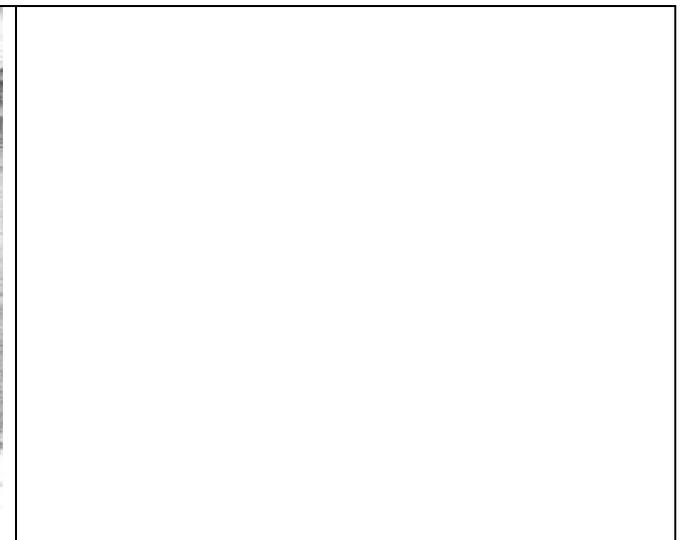


睡蓮の池、緑のハーモニー、1899、オルセー美術館



ヨーロッパ橋、サン・ラザール駅、1877、マルモッタン・モネ美術館

ベルナール(1868-1941)



ルノワール(1841-1919)



ラ・グルヌイエール、1869、ストックホルム国立美術館



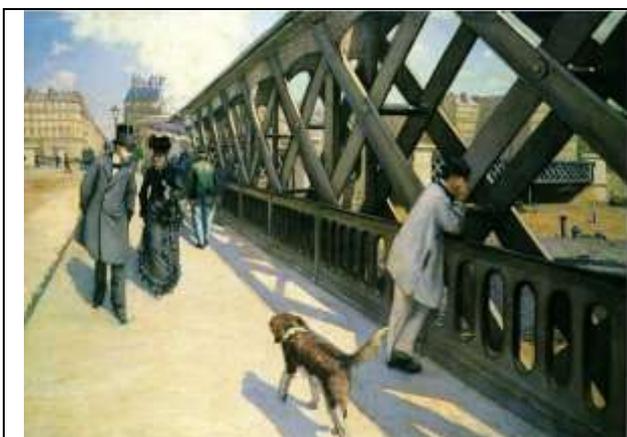
ポン・ヌフ、1872、ナショナル・ギャラリー、ワシントン



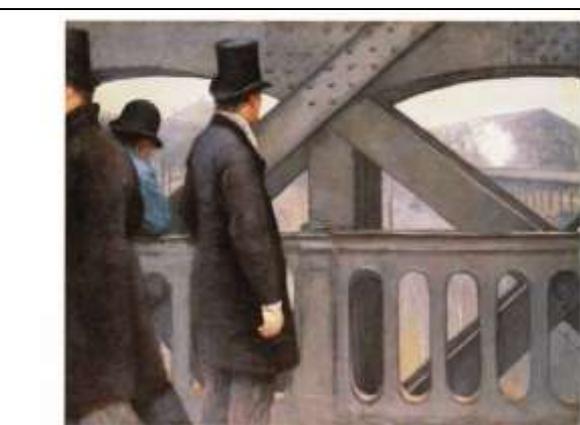
芸術橋、1867、ノートン・サイモン美術館(アメリカ)



カイユボット(1848-1898)



ヨーロッパ橋、1876、ジュネーヴ プティ・パレ美術館

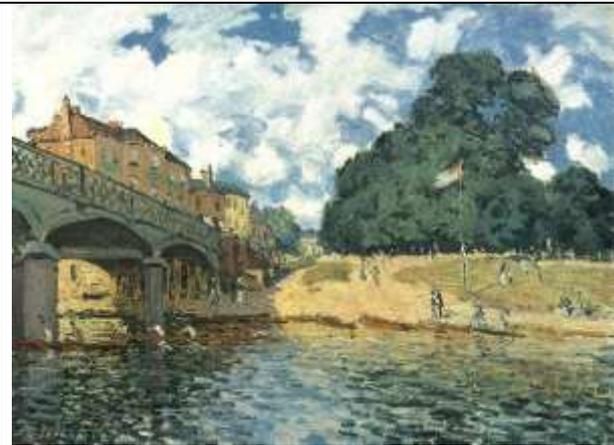


ヨーロッパ橋、1876

印象派の画家たちが集まったパティニヨール地区界隈に新しくできたサン・ラザール駅は、画家たちの格好の

題材だった。その駅に架かる大きな橋をカイユポットは描いた。現在はヨーロッパ広場と呼ばれるその橋の中央からは、ヨーロッパの都市名を冠した6つの通りが放射状に延びているが、カイユポットが描いているのはウイン通りから中心へと向かう風景。遠近法で正確に描写されている。消失点の前に描かれているフラヌール（散歩者）の紳士はカイユポット自身。一緒に歩く婦人に話しかける彼、そこに近づきつつある犬、ぽんやりと橋の下を眺める労働者、空へとのぼる蒸気機関車が吐き出す白い煙。これらが、映画のように動きのある画面に形成されている。

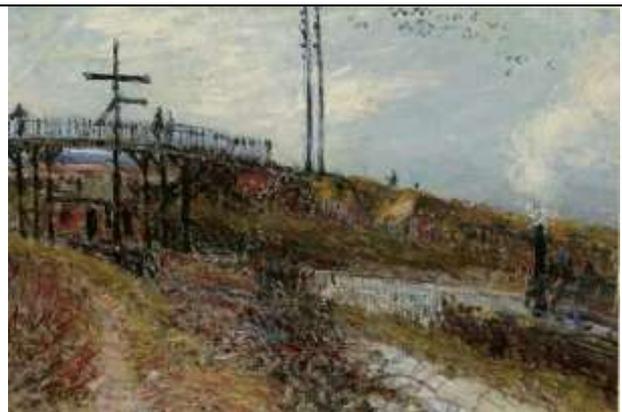
シスレー(1839-1899)



ブージヴァルの夏、1876、ビューレ・コレクション



イースト・モルシーの旅館とハンプトン・コート橋、1874



セーヴルの跨線橋、1879、



ロワン川の岸辺、1885、フィラデルフィア美術館



モレ・シュル・ロワン、1888、(山形美術館)



モレのロワン運河、オパーリン大学アレン記念美術館



モレの橋、1893、オルセー美術館



サン・マメスのロワン川、1882、ボストン美術館



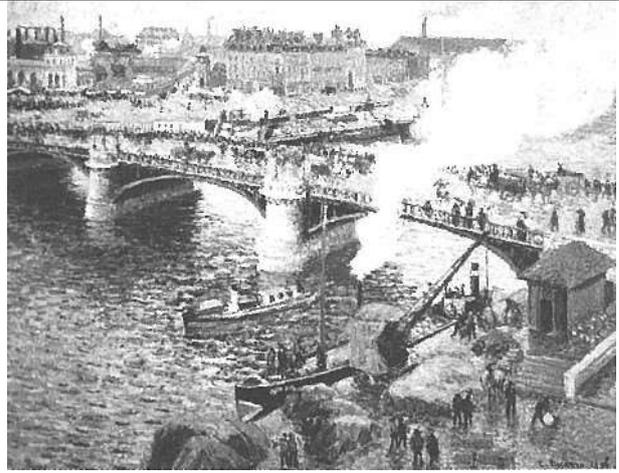
アルジャントウイユの歩道橋、1872、オルセー美術館

セザンヌ(1839-1906)



マンシーの橋、1880、オルセー美術館

ピサロ(1830-1903)



パリのポン・ヌフ (Port-Neuf, Paris) 1902 年、
ひろしま美術館 (広島)



ボワエルデュ橋、ルーアン、1896、ピッツバーグ、
カーネギー美術館

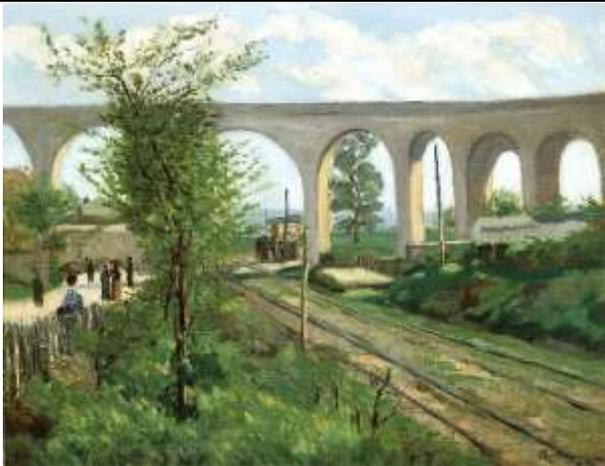


ポン・ヌフのテラス、アンリ4世広場、朝の雨、1902、ア
ーカンソー美術館

コロー(1796-1875) Corot, Jean-Baptiste Camille-



ギョマン(1841-1927)



アルクイユの水道橋とソー鉄道、1874、シカゴ美術館

マチス(Henri Matisse, 1869-1954)



雪のサン=ミシェル橋、1897、ビューレ・コレクション

タルコフ(Nicolas Tarkhoff, 1871-1930)



朝の川辺、1907、プチ・パレ美術館、スイス